



8年越しの結婚

心あつたかニュース

NMCAA
NO3

婚約者が病気で倒れ、意識のはつきりしない彼女の回復を信じて8年越しの結婚をしたというニュースがありましたので、ご紹介します。

岡山県の中原麻衣さん(35)と中原尚志さん(37)は2014年12月市内の結婚式場で結婚式を挙げた。8年前に二人は結婚するはずだった。麻衣さんが突然倒れ、一時は心肺停止の状態にもなり、岡山大病院に移っても昏睡状態が続き、激しくけいれんしたり、暴れたりした。病名は抗NMDA受容体脳炎」。卵巣などに腫瘍ができただために、細菌やウイルスから身を守るはずの抗体が間違っただけで自分の脳を攻撃。それによって幻覚を見たり呼吸が弱くなったりし、その後は無反応の状態などが続くという病気で、発症率は100万人に0.33人と言われている。卵巣の腫瘍を摘出する手術を受けたが、劇的に状況は好転しなかった。それでも尚志さんは彼女のもとに通い続けた。尚志さんを見かねて

「あなたの人生もあるのだから」と思わず声をかけたこともあったという。だが、尚志さんの気持ちには揺るがなかった。麻衣は絶対に目を覚ます。そして結婚するんだ」尚志さんの思いが通じたのか、麻衣さんの状態は少しずつ良くなっていった。2008年2月には人工呼吸が取れ8月にはけいれんも減り。指でグー、チョキ、パーもでき、意識レベルの向上が顕著になっていった。その後、3年ほどかけて、自分の名前を漢字で書いたり、感情を出せるようになってきた。2011年春にようやく退院。家族を認識できるようになったが、どうしても尚志さんのことは思い出せないうでいた。病室や自宅によく来て話しかけてくれるけど、誰？何でいつもそばにおるん？」。麻衣さんは当時、そう思っていたという。ある日、自分が使っていた手帳から、尚志さんと結婚の記憶がよみがえる。そして8年越しの結婚となった。二人の結婚式はユーチューブにも投稿されている。卵巣の手術を受けた麻衣さんだったが、なんと長男も誕生した。3人は現在、麻衣さんの両親と同居している。麻衣さんの父、秀和さん(62)は「私は前向きな性格なんです。麻衣が大変だったときも、明日より明日、明日よりあさってはいいいことがある」と思っていました。後ろ向

きなことは絶対に思わなかった」と話す。尚志さんは家族とはという質問にこう答えている。家族は運命共同体だと思ふ。いいときも悪いときも、自分のことのように受け止められる存在。2人の物語は「8年越しの花嫁 奇跡の実話」とのタイトルで映画になる。HUFFPOSTより

編集後記

尚志さんにとって、結婚式を挙げる前からは、結婚式を挙げる前からは、運命共同体だったのです。そんな家族から子供が生まれて育っていく。いい時もそうでない時も、頑張れるのはあなたがいるから。家族って本当にいいですね。家族も友達も人と人の関わり愛が心を暖かくしてくれます。